

今年度の能力評価に係る検討について

【現状の課題】

- これまで実施している研修の効果の分析がされていない。
（これまでのアンケート、テスト結果の分析が不十分）
- 個人（受講者）が同定されていないため、個人ごとの能力の習得状況を把握できない。
- 受講者の所属組織に対する研修の効果について、その内容及び測定手法の検討が必要。

「防災スペシャリスト養成研修」の能力評価に向けた調査・検討

- これまでの受講者の属性、受講状況等の把握
- これまでのアンケート・テストの結果分析
- **研修受講後の実態調査（アンケート、ヒアリング）手法の検討等**
- 受講者データ管理の検討

下線はH29年度実施済み

「防災スペシャリスト養成研修」における
能力評価の仕組みの検討

能力評価（個人／組織）の仕組みの検討

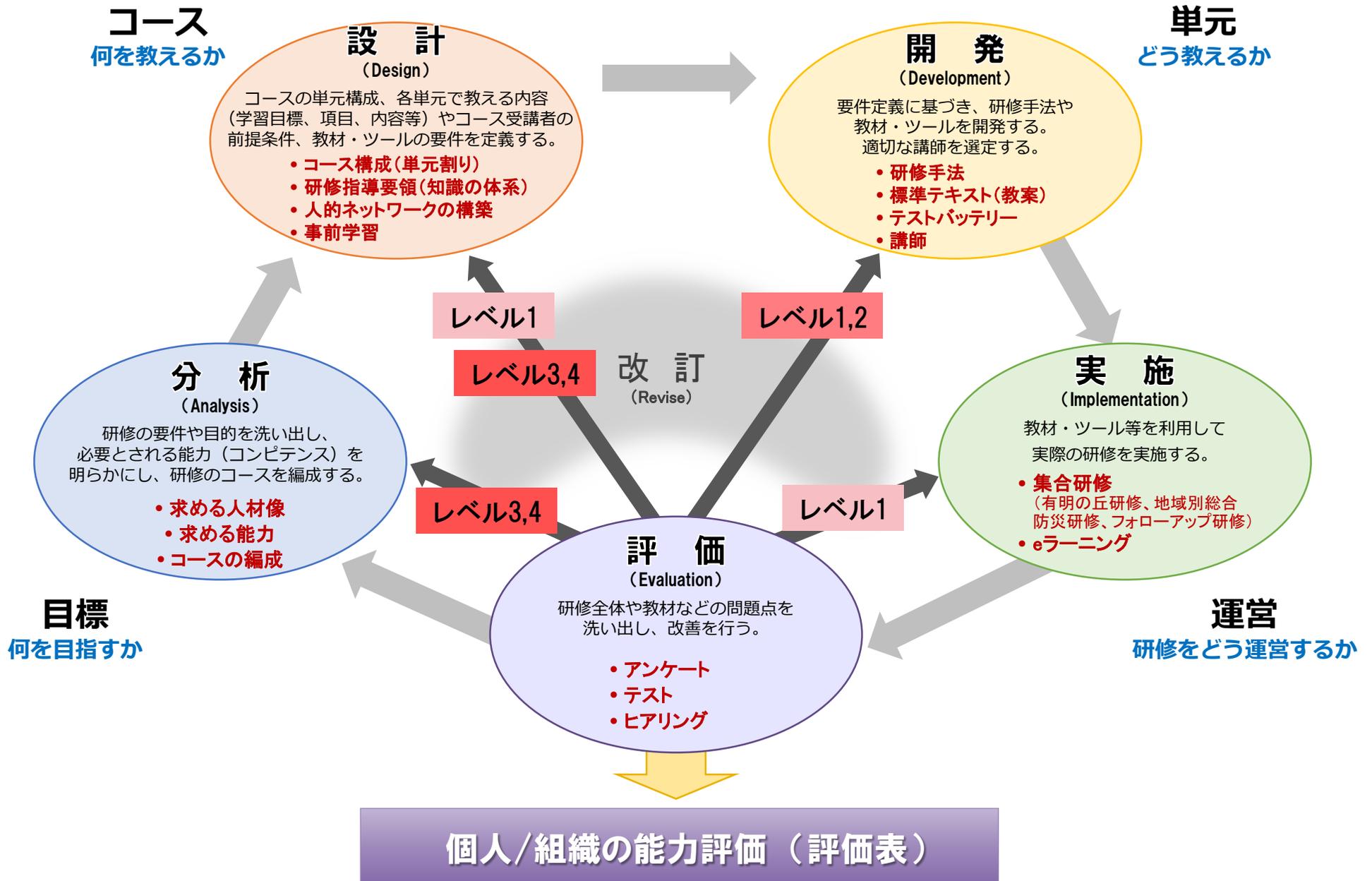
評価手法の選択(案)

						目標 何を指すか	コース 何を教えるか	単元 どう教えるか	運営 研修をどう運営するか
評価する内容 (改善の対象)						ADDIEモデル			
						分析(研修)	設計(コース)	開発(単元)	実施(運営)
レベル / 効果 / 評価ツール / 評価時期						<ul style="list-style-type: none"> 求める人材像 求める能力 コースの編成 	<ul style="list-style-type: none"> コースの単元割り(コース構成表) 教える内容(研修指導要領(知識の体系)) 人的ネットワークの構築 事前学習 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の内容(研修手法、標準テキスト、テスト) 講師 	<ul style="list-style-type: none"> 集合研修(環境・施設、時期・時間、運営内容・方法) eラーニングの運営(LMS、運営内容・方法)
						レベル1 反応 受講者の満足度 アンケート 受講後 単元毎 終了時			受講者 講師 コーディネーター
レベル2 学習 研修内容の理解度 テスト 受講後 単元毎 終了時			受講者	受講者					
レベル3 行動 仕事上の行動変容 アンケート 一定期間経過後	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>修了者アンケート</p> <p>↓</p> <p>ヒアリング</p> </div>								
レベル4 結果 組織の目標に対する効果(業績) ヒアリング 一定期間経過後									

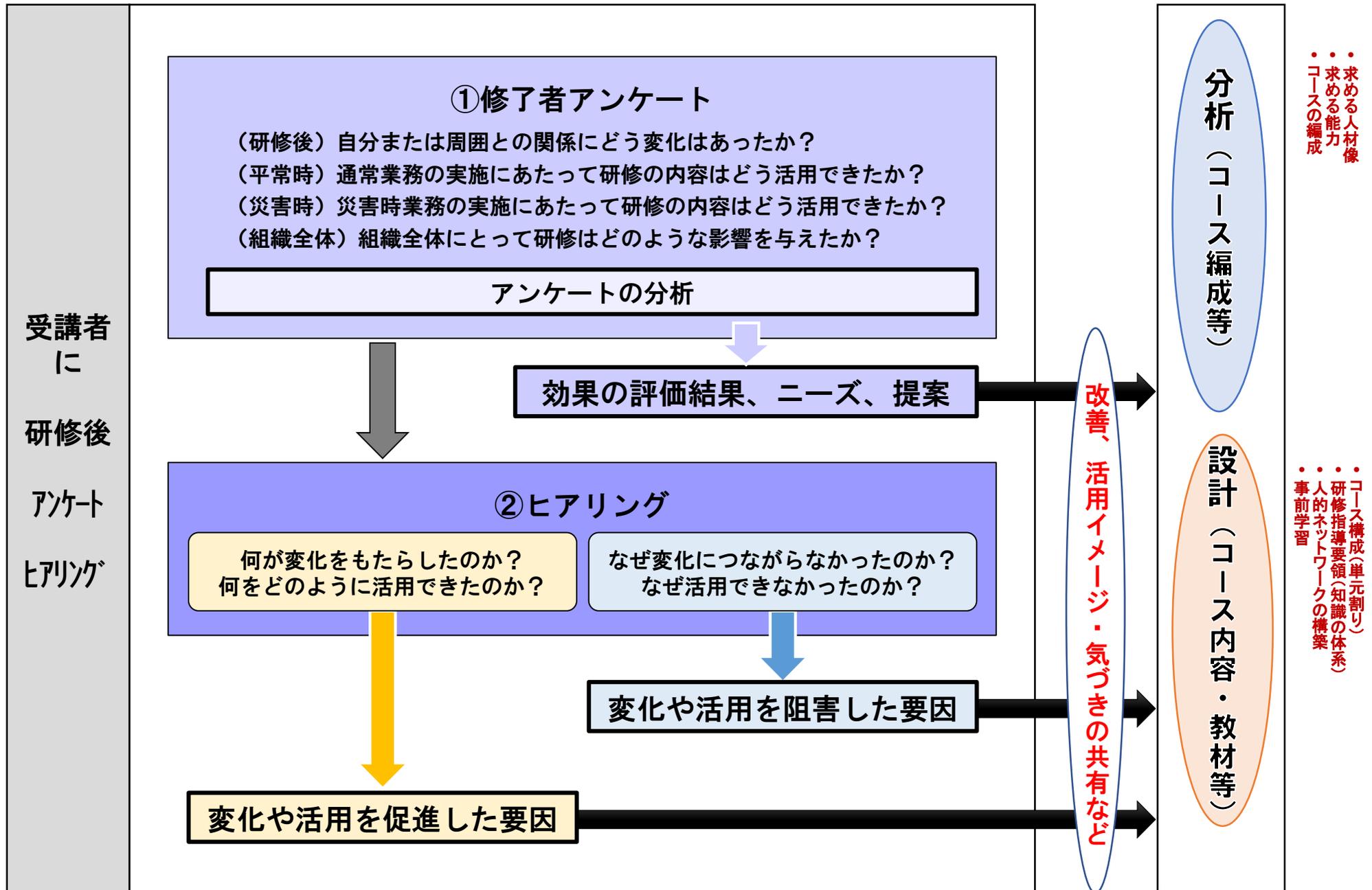


「防災スペシャリスト養成研修」の効果을把握するための評価手法(レベル3,4)

【参考】「ADDIEモデル」に基づく防災スペシャリスト養成研修の改善モデル(案)



研修効果の評価と改善の考え方 (案)



アンケート調査の設問(案)

< 1 > 研修後の変化について

- ① 研修を受けたことで、自分の中で何がどう変わったか？
- ② 研修を受けたことで、周囲との関係で何がどう変わったか？

< 2 > 研修後の通常業務での活用状況について

- ① 通常業務で防災に関連する業務に就いたことがありますか？
⇒あった場合
 (ア) 業務内容
 (イ) 職位
 (ウ) 期間
- ② 通常業務の実施にあたって研修はどう役立ちましたか？

< 3 > 研修後の災害対応または応援の取組み

- ① 災害（例：大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨）対応または応援に従事しましたか？
⇒あった場合
 (ア) 災害名
 (イ) 業務内容
 (ウ) 期間
 (エ) 業務の従事場所
- ② 災害対応または応援で苦勞されたことはどのようなことですか？
- ③ 研修はどのような点で役立ちましたか？

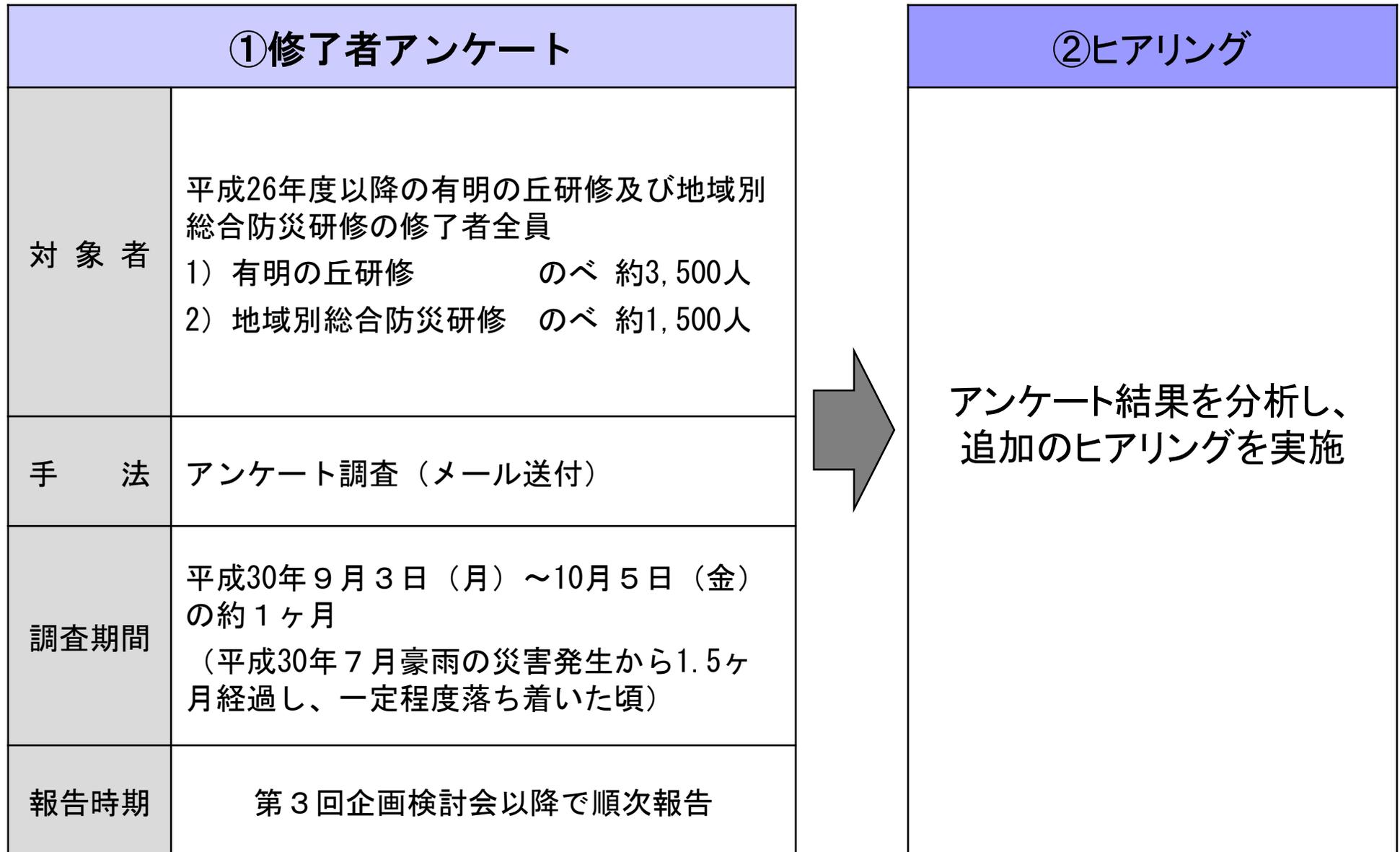
< 4 > 組織全体への影響について

- ① 研修を受講したことは、組織全体にとってどのような影響を与えたとお考えですか？

< 5 > その他

- ① 今後の研修改善にあたってご提案があれば教えてください

研修効果把握のための実態調査方法（案）

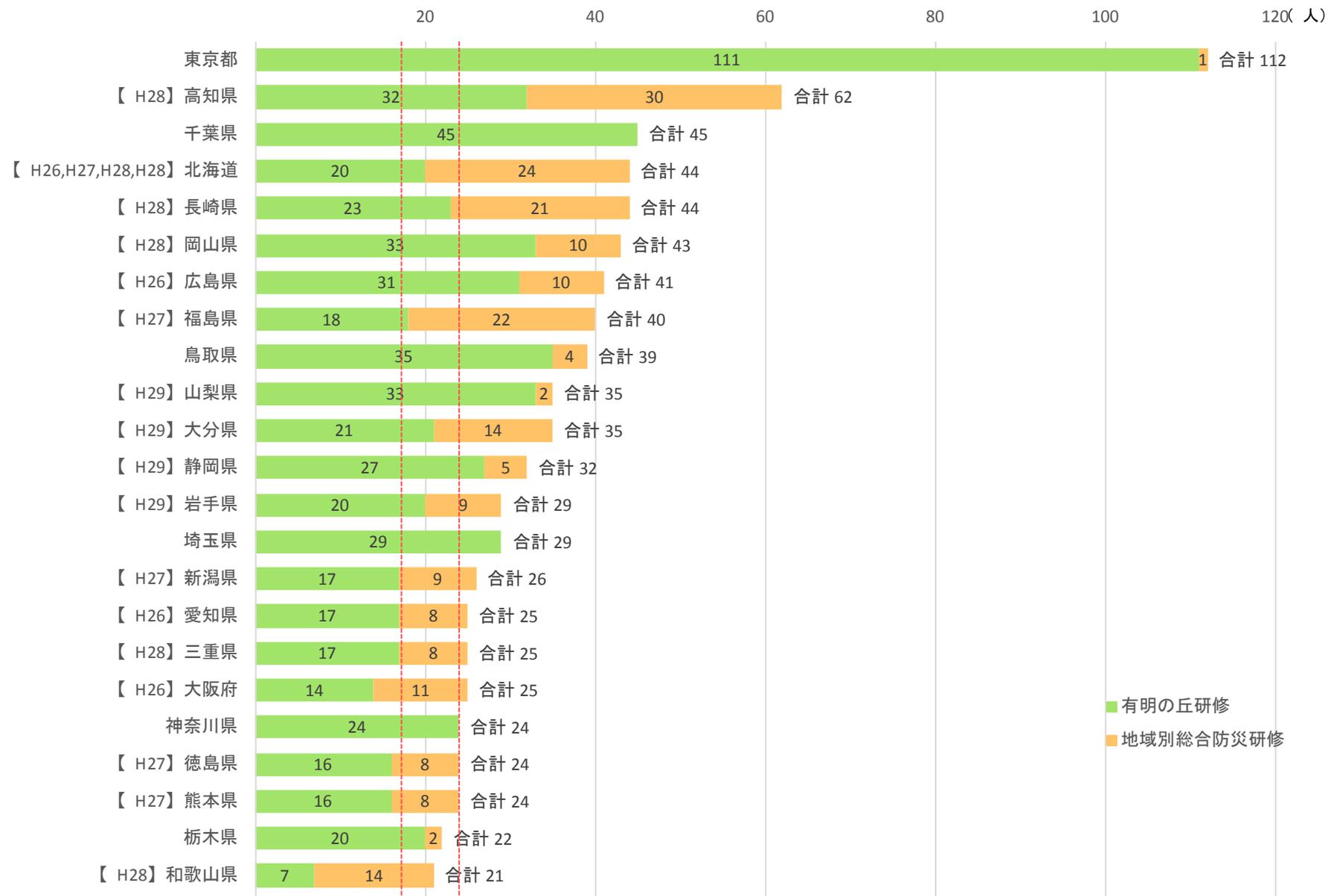


【参考】 <都道府県> 過去4年間の修了者のべ人数（都道府県職員のみ） 1位～23位

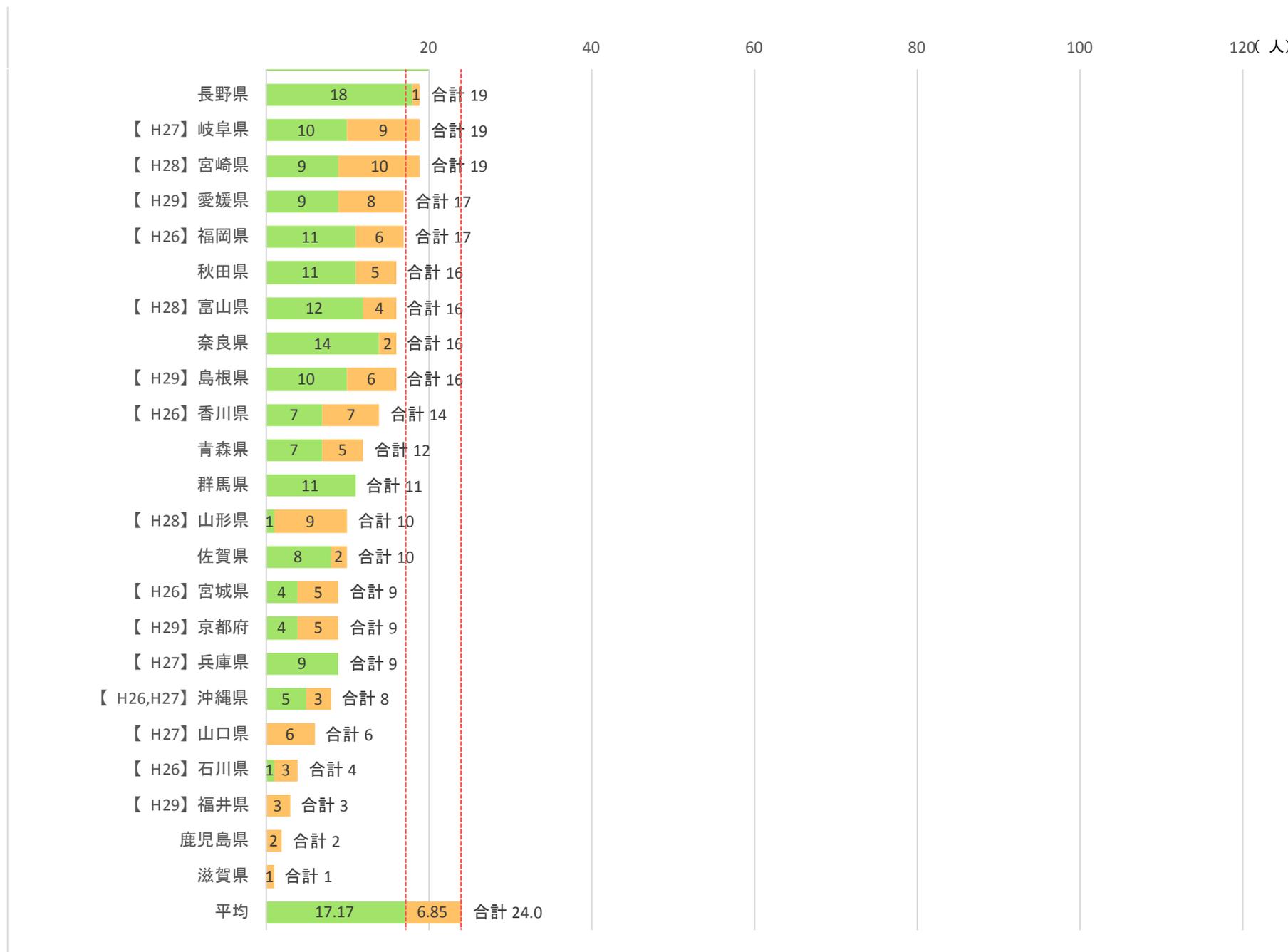
※【 】内は、地域別総合防災研修の開催年度

都道府県職員 修了者数 合計 1,129人

全国平均 24.0人



<都道府県> 過去4年間の修了者のべ人数（都道府県職員のみ） 24位～47位



<市町村> 過去4年間の修了者のべ人数 1位~20位



人口は平成27年国勢調査（総務省統計局）より百の位を四捨五入して表示

<市町村> 受講者ごとの有明の丘研修受講コース一覧 20位

● : OJT

■ : 地域別も受講している者

政令市 72.0万人 21.神奈川県相模原市

修了者のべ人数 有明の丘：20人 地域別：0人

①総合監理								3											0
②人材育成																			1
③対策立案									3										2
④指揮統制																		2	1
⑤復旧・復興																			0
⑥被災者支援				5		5													2
⑦応急活動・資源管理	4	4																	2
⑧警報避難	3	3					3												4
⑨災害への備え	2												2						3
⑩防災基礎	1	1																	5
修了者選し番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

19.4万人 22.神奈川県小田原市

修了者のべ人数 有明の丘：20人 地域別：0人

①総合監理																			3
②人材育成																			1
③対策立案																			3
④指揮統制																			4
⑤復旧・復興																			2
⑥被災者支援																			1
⑦応急活動・資源管理																			3
⑧警報避難																			0
⑨災害への備え																			3
⑩防災基礎																			0
修了者選し番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

23.29万人 23.神奈川県大和市

修了者のべ人数 有明の丘：20人 地域別：0人

①総合監理																			1
②人材育成																			2
③対策立案																			2
④指揮統制																			0
⑤復旧・復興																			2
⑥被災者支援																			4
⑦応急活動・資源管理																			3
⑧警報避難																			2
⑨災害への備え																			1
⑩防災基礎																			3
修了者選し番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19